2026 年度 講座・出前授業報告書 No. 26

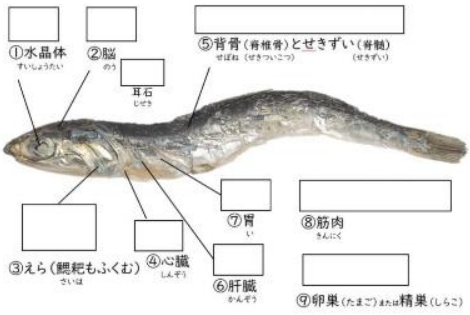
開催日時	2026 年 10 月 18 日（日 ） 開始時間 10:00 終了時間 11:30								
開催場所	城山公民館								
実施内容	煮干しの解剖								
人 数	幼児	小１	小２	小３	小４	小５	小６	大人	計
		5	1	6	1	0	2	9	24
スタッフ	５名	実施機関スタッフ			名				

１　概要

・４班編成で各テーブルに子ども３～４人、大人２人～３人着席して受講した。

・最初に PPT で脊椎動物、無脊椎動物の分類などを簡単に紹介し、そのあとでイワシには３種類あることを紹介し、カタクチイワシについて各部位の説明をした。

・次に、解剖の仕方を説明し実験を開始した。



２　実施内容

・湯の中で少しふやけさせたカタクチイワシを子どもに１尾ずつ渡し、頭から順番に解剖し水晶体、脳、耳石等を見つけて、右図のワークシートの各場所におきセロテープで固定させた。

　子どもたちはなかなか見つけることができず、１０種類すべて見つけた子は少なかった。この実験には４０分程度の時間をとり、ゆっくりとやらせたので、子どもたちは楽しそうにしていた。

なお、親も子供と一緒に夢中になってやっていた。

・次に、顕微鏡を使って胃の中のさまざまなプランクトン、たとえばオキアミやケイソウなどの植物プランクトンや動物プランクトンを見つけ、スマホで撮影し拡大してワークシートにスケッチしていた。（約２０分）

・最後にまとめをして、各自から感想を聞いて終わりにした。

・６年生の感想：今回、イワシを見て脳が面白い形をしていて、腸はねじれていて、卵巣みたいなものを見てけっこう長くてすごいと思った。せきずいもとても長くてビックリした。マイクロプラスチックやナノプラスチックを魚が食べてしまっている。

３　良かった点、課題点など

・リーダーが分かりやすく説明し、子どもの関心を引く話題を提供したので、関心を示していた。

・子どもだけでなく親子同伴で実験したことがとてもよかった。

・公民館の担当者から、知らないことを知れてとても良かった。来年もまた面白い実験をやってくださいとのお褒めの言葉を頂いた。

・開始前にリーダーから説明を受け、子どもたちの質問に答えられるようにしたが、いざとなると各部位を探すのが難しく、子どもたちの質問にスタッフもわからないことがあったのでリーダーを呼んで教えてもらった。作業会で勉強会する必要を感じた。



